allcinema

ヒトラーの毒見役（2025）

LE ASSAGGIATRICI
THE TASTERS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア／ベルギー／スイス
色彩 Color
時間 123分
初公開日 2026/07/31
公開情報 アンプラグド
映倫 PG12

【キャッチコピー】
食べて死ぬか、撃たれて死ぬか

【解説】
第二次世界大戦中のドイツに実在した“ヒトラーの毒見役”の逸話をモチーフにしたロッセラ・ポストリノの世界的ベストセラーを、「ベニスで恋して」「エマの瞳」のシルヴィオ・ソルディーニ監督が映画化。毒見役を命じられた主人公が、出征した夫の帰りを待ちながら死と隣り合わせの日々を送る姿を、同じ毒見役の女性たちと織り成す人間模様を軸に綴る。主演はドイツ出身のエリーザ・シュロット。
1943年、第二次世界大戦末期。激しさを増す空爆を逃れ、ベルリンからポーランドの田舎町に疎開したローザ。そこで前線にいる夫の帰りを待ちわびる彼女だったが、近くの森にはヒトラーの総統大本営“ヴォルフスシャンツェ”が置かれていた。そしてある日、彼女はヒトラーの毒見役を命じられ、同じように毒見役に選ばれた地元の若い女性たちとともに、毒が盛られているかもしれないヒトラーに供される前の料理を食すことを強制されるのだったが…。

【クレジット】

監督	シルヴィオ・ソルディーニ	Silvio Soldini	
製作	リオネッロ・チェッリ	Lionello Cerri	
	クリスティーナ・マイナルディ	Cristiana Mainardi	
原作	ロッセラ・ポストリノ	Rosella Postorino	『ヒトラーの毒見役』（オークラ出版刊）
撮影	レナート・ベルタ	Renato Berta	
編集	カルロッタ・クリスティアーニ	Carlotta Cristiani	
	ジョルジョ・ガリーニ	Giorgio Garini	
音楽	マウロ・パガーニ	Mauro Pagani	
出演	エリーザ・シュロット	Elisa Schlott	ローザ
	マックス・リーメルト	Max Riemelt	
	アルマ・ハズン	Alma Hasun	
	エマ・ファルク	Emma Falck	
	オルガ・フォン・ルクヴァルト	Olga von Luckwald	
	ベリト・ファンダー	Berit Vander	
	クリームヒルト・ハーマン	Kriemhild Hamann	
	テア・ラシェ	Thea Rasche	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.